

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京阪伏見桃山駅前ビル	階数	地上4F、地下1F
建設地	京都市伏見区京町三丁目173、178-1	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年(想定値)
建物用途	物販店、飲食店、集会所、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年1月 予定	評価の実施日	2020年1月15日
敷地面積	635.43 m ²	作成者	株式会社ユマ設計 安達裕一
建築面積	470.68 m ²	確認日	2020年1月15日
延床面積	2,100.90 m ²	確認者	株式会社ユマ設計 安達裕一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.9

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	建物の入口付近に植栽を多く設けるなど景観に配慮した。適切な収容台数の駐輪場を設置し歩行者に配慮している。内装材として地域産木材の格子壁を設置し趣のある空間としている。	その他
Q1 室内環境	内装材は全てF☆☆☆☆を使用。	Q3 室外環境 (敷地内)
LR1 エネルギー	BPI _m =0.41、BEI _m =0.90。LED照明、太陽光パネルの設置。	LR3 敷地外環境
Q2 サービス性能	内装材には防汚性の高い材料を使用し維持管理の配慮をした。	Q3 室外環境 (敷地内)
LR2 資源・マテリアル	内装の一部に地域産木材を利用した。	LR3 敷地外環境
Q3 室外環境 (敷地内)	可能な限り緑地を配し、敷地内の環境にも配慮した。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	光害の抑制に努めた。	LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される